



第427号

2022年10月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya-diocese.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

名古屋教区設立100周年 教区聖年 (2022.2.13~2023.5.28) 神からの賜物 (A GIFT) を感謝し 新しい時代へ

世界宣教の日・献金 10月23日 この日の献金は各国からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られる。

教区ホームページ

福音のひびき

10月の説教者 2日 年間第27主日 フィラデルフィ・パヴォール(南山教会) 9日 年間第28主日 岩崎一二三(布池教会) 16日 年間第29主日 森 智宏(南山教会) 23日 年間第30主日 鄭 有喆(押切・小牧・守山教会) 30日 年間第31主日 ブルム・アーノルド(瑞浪教会)

名古屋教区「平和の集い」

「ともに歩む・私たちが忘れないで」

名古屋教区平和旬間「平和の集い」が名古屋カテドラル布池教会で、8月7日、「ともに歩む・私たちが忘れないで」のテーマのもと、行われた。

松浦悟郎司教はあいさつで、「1981年教皇ヨハネ・パウロ2世が日本を訪問し平和をアピールしたことから、日本カトリック平和旬間」(8月6日、8月15日)が設けられたと話した。

第1部のはじめは、「アフガニスタンの活動と故中村哲医師について」ペシャワール会名古屋会長五井泰弘さんが話した。戦乱による難民に加えて飢えによる難民、中

村さんは彼らが「生きるために必要なことをした。井戸掘り、用水路建設と。医師・技師・看護師の養成にも力を注いだ。現地では今、中村さんの遺志を引き継ぎ、医療・農業・灌漑用水路・緊急食糧支援は滞りなく進んでいるという。

続いてミヤンマーの現状について、シスター・マリアが証言した。政治腐敗、それに伴う経済活動不能、軍の統制、抑圧された教育現場の惨状が伝えられた。開いている病院や学校の写真が軍によって流されているが、それは見せかけで実際は機能していないという。軍

によるキリスト教への残酷な迫害とシスター自身の悲惨な体験も報告された。スリランカについては、ピリスブレッ・ジュード神父が体調不良で欠席したため、藤本正夫さんが代弁した。相次ぐ国の敗とコロナ問題とウクライナ戦争による経済危機状態にあるという。観光による収入が閉ざされてしまったことや物価高の現状が報告された。

第2部は平和祈願ミサが捧げられた。松浦司教は説教で、平和を考える時「キリストの平和」というまなざしと、今起こっている現実、人々の現実、目を向けること、この二つのまなざしが必要だと述べた。一人一人は顔を持ち、一人一人は顔を持ち、一人一人の顔を振り返すことが平和の原点だと思ふ」と力説した。司教は最後に、「祈りこそ力なのだが、その祈りに意志を込めないといけない」と示唆した。



説教をする松浦悟郎司教

続いて、ウクライ



奉納された平和のパネルと、ウクライナ、ミヤンマー、スリランカ、アフガニスタンの平和を願う折り鶴

「スリランカの状況」を代読する



藤本正夫さん

「PRAYER SERVICE FOR THE PEACE OF MYNMAR」(ミヤンマーの平和の祈り)



シスター・マリア

「アフガニスタンの活動と中村哲医師について」



五井泰弘さん

なお、当日証言者が配布した資料は、別送にて各小教区に送ります。教区社会福音化推進部 岡村 要

名古屋教区北陸ブロック 平和祈願ミサ

福井教会

北陸ブロックの平和祈願ミサがカトリック福井教会で8月11日、主司式の松浦悟郎司教と北陸ブロックの神父たちの合同司式で捧げられた。信徒ら約50人が参加。

松浦司教はあいさつで「日本カトリック平和旬間」を定めた由来を話し、「今、平和が壊されていく厳しい現実の中、キリストの平和を心から祈りたい」と述べた。松浦司教は説教の中で、教皇フランシスコの言葉「戦争があるから橋が壊れるのではない。橋が壊れたところに戦争が起る」とを引用して次のように語った。「この橋とは人と人、国と国をつなぐものであり、戦争が起る前にすでに長い時間をかけて壊れていったことを忘れてはいけません。和解するために過去を振り返りながら、壊された橋を回復させていかなければならないが、西側東側の対立や、南北の格差などの壁を残したまま、双方から一緒になって回復させるこ



ベトナム民族衣装を着て奉納する3人のベトナム女性

とに至っていない。また平和旬間の今年「ともに歩む・私たちが忘れないで」から私たちは新たな問題が起ると、それ以前のことを忘れてしまいがちで、今はウクライナのこととが前面に出て話されるが、布池教会で行われた「平和の集い」で証言したアフガニスタン、ミヤンマー、スリランカの今も続く悲惨な現状を紹介し、「私たちが忘れないで」に焦点を当てて話した。「キリストの根本的な教えは一人一人の顔と向き合うことであり、顔のない数字ではない。戦争で何人の人が亡くなった、何万人の人が飢えている、と数字にばかり目がいってはいませんか?」そして今日読まれた福音「七の七十倍赦しなさい」で言われているように赦しと和解の必要さを説いた。

名古屋教区設立100周年 教区聖年活動企画

「学び」名古屋教区100年の宣教の歩み

- A) テーマ「濃尾崩れ」 講演者 浅井太郎神父
 - ①期 日 10月10日(月・休日) 10:00~
 - 場 所 カトリック主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33
 - ②期 日 11月27日(日) ミサ後
 - 場 所 カトリック福井教会 福井市永宝3-2-3
- B) テーマ「近現代史100年の中の名古屋教区」 講演者 Sr. 三好千春
 - 期 日 11月3日(木・文化の日) 10:00~
 - 場 所 カトリック東山教会 名古屋市東区唐山町1-52

人事異動のお知らせ

教区司教 松浦悟郎

それに伴い、長浦教会へは神言会から左記の通り司祭を派遣して下さったのでお知らせします。 長浦教会 小教区管理者 トマス大川好洋神父(神言会) 期間 2022年9月1日より2023年3月末まで。 (4月以降は新たな人事異動となります)



松浦司教と共にベトナム人共同体

名古屋教区設立100周年を記念して 名古屋教区内の女子修道会・ 在俗会の紹介シリーズ(第3回)

「聖マリアの無原罪教育 宣教修道会」

日本における宣教活動は1953年8月、スペイン総本部から派遣された三人の会員の来日によって開始された。1955年5月、当時の松岡名古屋教区長様に招かれて、主税町、大喜町へと居を移した。1957年12月に現在の園山町に修道院が完成し、日本における本部修道院及び修練院となった。翌1958年4月には聖マリア幼稚園が創立された。

1962年秋、幼稚園の遠足で岐阜公園に出かけた際、何人かのマドレシスターが教会を訪ね、聖心布教会のクアーク神父様にお会いすると、即座に学校を創るようにと勧められた。翌年4月には聖マリア女学院

高等学校の入学式が行われた。1987年中学が併設され現在に至る。

1892年の修道会創立以来、創立者聖カルメン・サジェスが神から委ねられた使命は教育を通しての福音宣教であり、無原罪の聖マリアは全修道会と各会員がそうありたいと望む完全な理想像である。

幼稚園と中学校での教育が主な使徒的活動であるが、各修道院が所属する小教区や近隣の教会や本修道院での、土曜学校、日曜学校、聖書クラス、カテキズム等を創立以来継続している。

参考
修道会名 聖マリアの無原罪教育宣教修道会(RCM)
修道会本部 スペイン
マドリッド

アジア管区本部 韓国 ソウル(2018年より)
修道会創立 1892年12月7日
スペイン ブルゴス
創立者 聖カレルメン・デ・ヘスス・サジェス



アジアン管区本部 韓国 ソウル(2018年より)
修道会創立 1892年12月7日
スペイン ブルゴス
創立者 聖カレルメン・デ・ヘスス・サジェス

2022年度 東海地区一粒会の集い

岡崎教会

「神様はある日『はい』と答える時を慈しみ深く待ってられる」

6月26日、「一粒会の集い」が岡崎教会にて行われた。コロナ禍で2年間中止となり、3年ぶりの開催となった。しかしまだコロナ禍なので人数制限を設け、ミサ中の応答は先唱者一人が唱え、歌は合唱隊のみが歌い、恒例のミサ後の茶話会も行なわなかった。盛大さ、賑やかさは極力抑えられしたが、10人もの参加者があり、2年分の祈りと思いが寄せられた祝福に満ちた集いとなった。

第一部の講演会は、第一口松雄神父(石川地区宣教会司牧チーム)が召命について、「召命は神の祝福の道を歩むこと、清いものになりなさい」と召された者に、神は万事が益となるよう計らってくださる。また人生100年、年令に関係なく召命はあります」と説いた。

第二部のミサは、松浦悟郎司教と5人の司祭、助祭によって捧げられた。ミサの中で松浦司教は召命について「神様は人が生まれた瞬間からずっと呼びかけられる。その人がある日『はい』と答える時を慈しみ深く待ってられる」と話した。

ミサの終わりに、一粒会指導司祭の平田豊彦神父より良き便りとして、



岡崎教会で行われた一粒会の集いで、挨拶をする松浦司教



集いで一粒会について話す委員長の西村由美子さん
講演会で「召命」について話す第一口松雄神父(石川地区宣教会司牧チーム)

現在東京カトリック神学院に名古屋教区神学生が1人在籍し、続く第二、第三の神学生の可能性もあること、そして終身助祭が現在一人養成中との報告があった。次に教区青少年司牧担当の伊藤大有神父から、将来の司祭召命の期待も含め、現在活動している青年会、中高生会の紹介があった。「彼らが教区内の若者の活動のPRをしているので、一般信者の皆さんも温かく見守ってほしい」と、理解の広がり呼び掛けられた。

聖堂に入らずホールでミサに与っていた人たちは、ミサを終え退堂してきた司教の元に集まり祝福をいただいた。司教の心の中に燃える神様の愛にふれたようで皆、喜びでいっぱいだった。今回岡崎教会で開催できた事を心から感謝している。
岡崎教会 小林加代子

一粒会特別会計 2021年度会計報告

一粒会特別会計2021年度の会計報告をご報告いたします。
一粒会委員長 西村由美子

2020年度会計より 教区会計の「神学生育成援助金口」と統合され、新しく「一粒会特別会計口」となっています。

《説明》

- 収入⇒ 青封筒の一粒会献金がほとんどで、約1100万円。その他の収入は、一粒会以外の教区への献金です。
- 支出⇒
 - ・東京カトリック神学院分担金は、教区神学生が在席してなくても、支払いが必要です。
 - ・養成費には神学生以外にも終身助祭分も含まれます。現在、神学生1人在席です。
 - ・寄付金修道会は、教区内小教区運営に協力されている修道会への寄付金です。
 - ・一粒会の大きな支出は、上記3項目で「1100万円」を超えています。
 - ・活動費①は、一粒会活動に係る交通費、送料、印刷費、会議費、消耗品などの合計で、活動費②は、一粒会の中心的な行事、企画などに係る費用。①②合わせて約41万円です。
- 当期収支は▲312,634赤字となり、前期繰越金より補充となります。
- ★近藤神学生に続く新たな神学生が増えれば、さらに養成費が必要です。皆さんのお祈りと献金で、神学生を育てていきましょう。

一粒会委員長・西村由美子

| 科目 | 金額 | 備考 |
|--------------------|------------|-----------|
| 《収入の部》 | | |
| 一粒会献金 45教会 | 10,954,409 | |
| その他収入 | 329,796 | |
| 当期収入合計 | 11,284,205 | (A) |
| 前期繰越金 | 25,955,390 | |
| 収入合計 | 37,239,595 | |
| 《支出の部》 | | |
| 東京カトリック神学院分担金 | 6,260,000 | |
| 養成費(神学生、終身助祭) | 2,524,930 | |
| 修道会寄付金(8か所) | 2,400,000 | |
| 活動費①(事務費) | 174,259 | |
| 活動費②(神学院通信、一粒会だより) | 237,650 | |
| 当期支出合計 | 11,596,839 | (C) |
| 当期収支差額 | -312,634 | (A) - (C) |
| 次期繰越金 | 25,642,756 | (B) - (C) |

「第十四回平和祈念の集い」に参加して



世界平和構築について話す佐々木博神父

8月7日(日)「平和祈念の集い」は十分な感染予防対策の中で開催されました。テーマは「世界平和構築のための日本の主導的役割とは何か」

一訪日された教皇フランシスコのご期待にこたえるために、講師は仙台教区司祭佐々木博神父様でした。冒頭に話された41年前日本に來られたヨハネ・パウロ二世教皇の平和アピール「戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です」はウクライナ侵攻の現実と重なり心に刺さるものでした。

講師の第一の優先課題は「なぜ、日本は核兵器禁止条約に署名できないのか」でした。ノーベル平和賞を受賞されたサロメ・ズルババヤン氏のスピーチの中の「核兵器と人類は共存できない」の言葉は心に残ります。

第二の優先課題は「日本国憲法こそが世界平和実現のグローバルな原動力にする」でした。

平和憲法成立に向けての天皇陛下の勅書や当時の内閣総理大臣の演説を不勉強な私は82歳の今初めて読むことが出来ま

した。この文を読む限り「日本国憲法は絶対に変えてはいけない。世界の宝である」との神父様のお話は心から納得出来るものでした。

第三の優先課題は「聖書に学ぶ世界平和の道筋」でした。「平和であるキリストご自身が新約聖書の中に見ることが出来る」と話され、平和を支えるためには宗教の大切さを実感しました。最後に神父様は「キリストを信頼し平和をつくる協力者と連帯的グローバルな教育を広げて行くこと」によって、わが国は世界平和のために主導的な国となるのではないでしょうか」と結ばれました。次の塩谷里香さんの朗読「私と原爆との関わり」は、前日(8月6日)の広島市の平和記念式典の様子が重なり心に響きました。この会で神父様が用意して下さった16ページにわたる膨大な資料は貴重なもので読み返すために大切に保存しておきたいと思えます。今年も今の世界情勢と日本の現状に即した有意義な集いでした。
(南山教会・前田トヨ)

巡礼マップについて

教区司教 松浦悟郎

先月、教区聖年のため「巡礼指定教会」リストをお送りしました。その際にお知らせしましたのが、この度、信徒使徒職協議会(信徒協)が作成した巡礼マップが完成し、皆様へ送られることになりました。大変よくできており、これを活用して、ぜひいろいろな教会を訪れて祈っていただければ幸いです。

また巡礼指定教会には、100周年記念スタンプ

信徒使徒職協議会より聖年巡礼マップを発行

100年後の未来にむけて

名古屋教区は設立100周年を迎え4月24日に開幕ミサが行われました。説教の中で松浦司教は「この一年歴史を学び、祈りながら、巡礼をしながら、そして分かち合いながら、歩んでいきましよう」と話されました。

この度信徒協では巡礼マップを作り、発行することになりました。名古屋教区の歴史ある教会で、静かに神様と出会い、



聖霊の導きによって、それぞれの巡礼マップを完成していただけたら幸いです。

(信徒会長 平松富男)

カトリック看護協会名古屋支部主催の松浦司教との集い

カトリック看護協会名古屋支部主催の「松浦司教との集い」が今年5回目を迎えた7月2日に開催されました。コロナの感染状況も落ち着いてきていますが、会場は神学院で会員以外はリモートで参加を頂きました。

参加者は会員で7名と指導司教、会員以外は13名でした。最初に看護師の日々の現場の中で病者に寄り添うことができているか悩む事例を提示し、司教様に助言を頂きました。

その後講演会に入り、キリスト教の人間理解に基づく「寄りそう」ことについて、前提となる人間観についてお話頂きました。人間には立ち上がる力はあるが、それは外

名古屋カトリック難民移住移動者委員会の訪船活動

名古屋難民移住移動者委員会の中には船員司教と訪船活動があります。名古屋ステラマリス(船員司教の名前)では、毎月1回名古屋港で訪船をしています。現在、訪船のボランティアは神父2人シスター1人信徒5人です。

私たちの生活に必要な

物資は、船によって運ばれています。名古屋港は国内でも東京に次いで大きな港で、色々な種類の船が停泊しています。私たちが主に訪船するのは一般貨物船です。以前は乗船できましたが、今はコロナのために船内に入ることもできません。交流も限られています。船員さんたちが降りてきて短い時間ですが、お話をしたり船長さんにプレゼントを渡したりすることなどはできます。船籍は色々ですが、船員さんはフィリピン人やアジア系の方が多く働いています。以前の寄付の呼び掛けに

えて3つの小教区がカップライメンを届けてくださり、また2つの小教区がクリスマスのために毛糸の帽子を編んでくださいました。船員さんたちはコロナ禍のため買い物できないので、とてもプレゼントを喜んでくださいます。今は、非常に機械化されているので、短期間に荷物の積み下ろしを済ませ、すぐに次の航海に出て行きます。長い間、家族とも会うこともなく、コロナ禍のため乗船を交代することもなかなか難しいと聞いています。私たちの生活を支えている船員さんたちを心に残り、短い時間ですが交流を持つことはとても意味のあることだと思います。関心のある方は是非一度、一緒に訪船してみませんか。難民移住移動者委員会 問い合わせ(☎052195319480)



私たちが降りてきて短い時間ですが、お話をしたり船長さんにプレゼントを渡したりすることなどはできます。船籍は色々ですが、船員さんはフィリピン人やアジア系の方が多く働いています。以前の寄付の呼び掛けに

えて3つの小教区がカップライメンを届けてくださり、また2つの小教区がクリスマスのために毛糸の帽子を編んでくださいました。船員さんたちはコロナ禍のため買い物できないので、とてもプレゼントを喜んでくださいます。今は、非常に非常に機械化されているので、短期間に荷物の積み下ろしを済ませ、すぐに次の航海に出て行きます。長い間、家族とも会うこともなく、コロナ禍のため乗船を交代することもなかなか難しいと聞いています。私たちの生活を支えている船員さんたちを心に残り、短い時間ですが交流を持つことはとても意味のあることだと思います。関心のある方は是非一度、一緒に訪船してみませんか。難民移住移動者委員会 問い合わせ(☎052195319480)

南山大学野外宗教劇公演のお知らせ 第56回「受難」

日時 10月8日(土) 17:30開場 18:00~開演。 予備日10月16日(土)

場所 南山大学パハスクエア 名古屋市昭和区山里町18

入場 無料。予約制です。

事前予約 感染対策のため入場定員を設けます。以下の手順で申し込みください。本文に、①お名前(フルネーム)、②メールアドレス、③天候の関係で10月16日に延期された場合来場されるのかを明記。

宛先は passion.play.56@gmail.com

なおご家族、友人に関わらず、1通につきお一人様の申し込み。3日以内に返信が届きます。

受付締切は10月5日(水)23:59迄。確実に入場いただくためにぜひ事前予約を。

連絡 新型コロナ感染予防のためマスク着用。野外は夕方から冷えますので防寒対策もお忘れなく。

問合せ 南山大学 ☎052-832-3111 野外宗教劇「受難」係

聖霊会 聖霊修道院主催 「New 賛美の集い2022」

コロナ対策をしながら3年ぶりの賛美の集いをいよいよ再開します!み言葉とテゼの歌、静かな美しい音楽を聞きながら日常の雑音から少し離れてみませんか。

日時 10月22日(土)、11月19日(土)、12月17日(土) 各時間は19:00~20:00

賛美の集いと分かち合い。

場所 聖霊ミッションセンターホール 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1 地下鉄名城線八事日赤病院 1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ。徒歩5分

参加費 無料、前もっての申し込みは必要ありません。

問合せ ☎052-832-0434 聖霊修道院 詳細は、チラシをご覧ください。

伊藤輝巳展

女子パウロでもカレンダーの絵やシールなどの絵を書いていただいています伊藤輝巳さんの展示会を行います。ぜひ、観に来てください!

期間 11月5日(土)~13日(日)

伊藤輝巳さん来店:5日と6日

会場 名古屋聖パウロ書院 奥ホール 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-2 (カトリック布池教会向かい)

TEL:052-936-4443 FAX:052-799-4461

休日 月曜日

オープン時間 平日、土曜日は10:00~17:45 (日曜日:10:30~17:45)

名古屋教区典礼委員会からお知らせ

新しいローマ・ミサ典礼書 会衆用式次第 データ共有について

2022年9月12日 名古屋教区典礼委員会 フィラデルフィ・パヴォール神父

ご承知の通り、今年の11月27日の待降節第1主日より、新しいローマ・ミサ典礼書を用いてミサの実施がはじまります。既に7月1日付で松浦司教より通達がありましたように、名古屋教区では式次第について一律に決めることはせず、カトリック系出版社などを通して購入していただくことになります。

ただ、出版社によっては、現在予約した場合でも1月発送になるということで、小教区によっては、独自に会衆用の式次第を作成されておられるところもあるようです。それで、今回、安城教会のボクダン神父と、石川地区の片岡神父から、式次第のデータの共有をいただきました。

下記よりダウンロードしていただき、各小教区の事情にあわせて、編集など自由にくださって構いませんが、印刷にあたっては、各教会の責任のもとでお願いいたします。なお、ほかにも貴小教区などで準備されて、このサイト上で共有しても構わないものがございましたら(外国籍の信徒のためのローマ字表記のものなども)お送りいただけますと幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。

データの送付先・問い合わせ先 フィラデルフィ・パヴォール神父まで ngycatholit@gmail.com

- 安城教会 ボクダン神父作成データ PDF形式 <http://nagoya.catholic.jp/download/2514/>
- 石川地区 片岡神父作成データ PDF形式 <http://nagoya.catholic.jp/download/2520/> Word形式 <http://nagoya.catholic.jp/download/2524/>



すべてのいのちを守るための月間(2022)

日本のカトリック教会は9月1日から10月4日まで「すべてのいのちを守るための月間」と定めていますが、カリタスジャパンでは、国際カリタスキャンペーン「トゥギャザー・ウィー」気づきの年の活動の一環として、キャンペーンの羅針盤ともいえる回廊「ラウダート・シ」と「兄弟の皆さん」の中から、「共感した箇所または本月間にふさわしい箇所」を募集し約70通の回答を頂きました。寄せられた箇所を、9月1日から毎日カリタスジャパンのフェイスブックページにて、またウェブサイトにも掲載しております。どうぞご覧ください。

ホームページ <https://www.caritas.jp/2022/09/01/5759/> フェイスブック <https://www.facebook.com/caritasjapan/> 2022年9月5日 名古屋教区カリタス福祉委員会 委員長 山野聖嗣 神父

現在の社会を、すべての人の尊厳を守ることが できる社会に変えていく 『TOGETHER WE キャンペーン』動画を見て皆さんもキャンペーンにご参加ください!



<https://youtu.be/u6Qah-aGG7g>

カリタスジャパン 『TOGETHER WE キャンペーン』 2022年国際カリタスは総合的エコロジーに関するキャンペーン『TOGETHER WE キャンペーン』を開始しました。最初に左の動画をご覧ください。



10月の教会暦

(祭日(祝)・祝日(記)・記念日)

| | |
|--------------------|------------------------|
| 1日(土) | 聖テレジア(幼きイエスの) |
| 2日(日) | おとめ教会博士(記) |
| 4日(火) | 年間第27主日 |
| 7日(金) | 聖フランシスコ(アシジ) 修道者(記) |
| 9日(日) | ロザリオの聖母(記) |
| 15日(土) | 年間第28主日 |
| 16日(日) | 聖テレジア(イエスの) おとめ教会博士(記) |
| 17日(月) | 年間第29主日 |
| 18日(火) | 聖イグナチオ(アンチオケ) 司教殉教者(記) |
| 23日(日) | 聖ルカ福音記者(祝) |
| 28日(金) | 年間第30主日 世界宣教の日(献金) |
| 30日(日) | 聖シモン 聖ユダ使徒(祝) |
| 11月の主な教会暦(主日・祭日など) | |
| 1日(火) | 諸聖人(祭) |
| 2日(水) | 死者の日 |
| 6日(日) | 年間第32主日 |
| 13日(日) | 年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 |
| 20日(日) | 王であるキリスト 世界青年の日 |
| 27日(日) | 待降節第1主日 |

| | |
|--------|---|
| 12日(水) | カリタス福祉委員会 |
| 13日(木) | 教区顧問会* |
| 14日(金) | 正義と平和委「学習会」 |
| 15日(土) | レジオ・マリエ「名古屋クリア」 |
| 16日(日) | 愛岐B会議/青年委員会/敦賀教会70周年(小浜教会25周年)* |
| 18日(火) | カトリック看護協会例会 |
| 20日(木) | 月集* |
| 22日(土) | 濃尾B会議 |
| 23日(日) | 東山教会聖信式* |
| 27日(木) | 司教評議会* |
| 29日(土) | 教区社会委員会* |
| 6日(日) | 教区東八事第二墓地合同追悼ミサ |
| 8日(火) | 難民移住移動者委員会/樹の会 |
| 11日(金) | 正義と平和委定例会 |
| 12日(土) | 殉教者委定例会 |
| 13日(日) | 三河B会議 |
| 15日(火) | カトリック看護協会例会 |
| 17日(木) | 教区顧問会*/月集* |
| 19日(土) | レジオ・マリエ「名古屋クリア」 |
| 20日(日) | 聖書週間(27)/城北B会議/城東B会議/城南B会議/青年委員会「WY D in名古屋」/豊橋教会聖信式* |
| 27日(日) | 北陸B会議 |

10月 教区行事以外の松浦司教予定

| | |
|--------|---------|
| 6日(木) | 常任司教委員会 |
| 10日(月) | 横浜一粒会総会 |
| 25日(火) | 南山評議員会 |

講演会のお知らせ「難民とともに歩む教会」
～「助けて下さい」の声にこたえて～

講演者 ビスカルド篤子さん(カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス事務局)

日時 11月3日(木)(受付13:00) 13:30～15:30

会場 カトリック布池教会大聖堂 地下ホール

交通 地下鉄桜通線「車道」下車 地下鉄東山線「新栄」下車 いずれも徒歩10分 公共交通機関をご利用ください。近隣に有料駐車場あり。

駐車場 無料。要約筆記あり。

入場料 無料。

主催 次世代を考える会(代表大水修)

問合せ 曾我 080-3404-5408 西谷 090-9179-7334

出席される方は、感染対策のためマスクの着用をお願いします。詳細はチラシをご覧ください。

告知板

10日(木) 常任司教委員会

◇10月の炊き出し

木6日東山、13日布池、20日聖霊・南山・樹の会、27日城北橋

日喜望の会、14日南山、21日布池

28日長浦

訂正

名古屋教区ニュース8・9月号3面の「名古屋教区一般会計報告」の2021年度収支決算書の要約の支出の部で、予備費4700,000円となつていますが、正しくは「繰入金支出」でした。訂正してお詫びいたします。

カトリック名古屋教区 セクシュアル・ハラスメント 対応委員会 ホットライン

☎ 080-2625-4681

受付 月～金(祝日除く)

時間 10:00～12:00
13:00～16:00

名古屋市東区葵2-6-35
カトリック名古屋教区センター
相談の秘密、プライバシーは厳守します。
安心してご相談下さい。

10月はロザリオの月

ロザリオの信心は、聖ドミニコ(1170～1221)が異端と戦っている時、聖母マリアからの啓示を受けたのが始まりだとされています。さらにドミニコ会士らがこの信心の普及に尽くしたことも大きいようです。10月7日は「ロザリオの聖母」の記念日ですが、これは1571年のギリシア・レバントの海戦でキリスト教徒がオスマン・トルコ軍に対して勝利を取ったことを記念して、聖ピオ五世教皇(1566～1572)によって定められました。この勝利は、ロザリオの祈りによってもたらされた聖母の助けによるものであると信じられています。またレオ十三世教皇(1878～1903)は10月を「ロザリオの月」と決めました。

建設費の返済に協力を

646件 31,720,525円
目標額 40,000,000円(6/30現在)

達成率 約79.3%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2022年度 名古屋教区合同追悼ミサのご案内

■教区東八事第一墓地合同追悼ミサ
日時 10月9日(日) 14:00～(雨天中止)

■教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
日時 11月6日(日) 14:00～(雨天中止)

《連絡》今年度も新型コロナウイルス感染防止のためマスク着用の事。体調のすぐれない方は無理のない様にお願ひします。聖歌は歌いません。

《雨天中止について》当日のNHK朝の天気予報で午後はっきり雨と予想された場合、合同追悼ミサは中止。当日は午前11時まで事務所まで電話の問い合わせに対応します。中止の場合は12時に現地に追悼ミサ中止の看板を設置。なお駐車場には限りがあり、霊園内への自動車での入場をお断りする場合があります。公共交通機関をご利用下さい。

問合せ 名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
カトリック霊園管理事務所
☎052-935-2223、Fax 052-935-2254

《お願い》名古屋霊園管理事務所のご指導により墓地への納骨の際は、申請・許可が必要で、八事霊園の方は、事前に教区本部事務局墓地係までお知らせ下さい。東八事霊園の方は管理会社(株)名古屋浄苑(☎052-831-1370)までお問い合わせ下さい。

サダナ ～神への道～ [リピーターへの会]
(入門ABC経験者のみ)

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

内容 AプラスとBプラスを実施
異なる内容で、両方参加可能

日時 ●Aプラス(入門Aの上位版)
11月5日(土) 9:30～17:00
※人数多数の場合は4日(金)も開催
●Bプラス(入門Bの上位版)
11月6日(日) 9:30～17:00
※人数多数の場合は7日(月)も開催

場所 聖霊会八事修道院 ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地(駐車可)

指導 植栗 彌 神父(イエズス会)

問合せ 攪上 暁子
meil ngosdn@gmail.com
☎050-7108-7410
参加者の声を右QRコードよりご覧ください

2022年度正義と平和委員会 学習会のお知らせ

「やられた方から歴史を見る」
— 誰一人置き去りにしない —

名古屋教区正義と平和委員会主催の勉強会は次の通り開催されます。

④日時 10月14日(金) 10:30～
テーマ 「誰も置き去りにしないSDGs」
講師 古澤礼太さん(中部大学教員)

⑤日時 11月11日(金) 10:30～
テーマ 「見捨てられる福島原発事故」
講師 大沼淳一さん(原子力市民委員会)

場所 ④、⑤いずれも福信館
カトリック名古屋教区
正義と平和委員会
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29
福信館気付 FAX 052-935-7195

第17回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院

日時 11月3日(木) 10:00～14:30
開場 9:30、雨天決行

場所 神言修道会多治見修道院
岐阜県多治見市緑ヶ丘38
(注意:小牧ワイナリーではありません)

参加費 前売り4,000円(当日販売なし)
※限定1,500人。ワイン1本付き、記念ワイングラス付き。20歳未満の方は入場無料、ソフトドリンクは有料

催し物 ワインセミナー/島幸子、2022年産新酒ワインの販売、他

お食事 チーズ、パン、お肉など盛りだくさんの出店

交通 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。JR多治見駅北口からシャトルバスを午前9時から随時運行ご利用ください。又は徒歩30分。

お願い アルコール類は持ち込み NG
お酒はAJUのワインでお楽しみください。社会福祉法人AJU自立の家 小牧ワイナリー内、AJU ワインフェスタ実行委員会
☎0568-79-3001
Fax0568-79-3002
E-Mail: komakiwinery@aju-cil.com

カトリック看護協会(JCNA) 名古屋支部 主催

『大切ないのちを守り、未来に繋げるために』
～東日本大震災から11年～

講師 南原摩利
(一般社団法人カリタス南相馬所長)

日時 11月15日(火) 18:30～19:30
【入室開始時間 18:00～】

参加方法 リモート(ZOOMでの開催)

対象 どなたでも参加できます

参加費 無料

申込締切り 11月11日(金)

・講演後に質疑応答・分かち合いの時間を設けてあります。
・申込みされたメールアドレスにZOOMの招待状をお送り致します。

申込・問合せ
JCNA 名古屋支部 鈴木光恵
メール: jcna.nagoya@gmail.com
または社会福祉法人聖霊会カトリック社会事業室
村木 ☎052-832-1181 (内線7354)

聖霊奉侍布教修道女会(聖霊会) からラビリン スメディテーションへのお誘い

10月22日(土)、11月26日(土)

時間 13:30～16:30

場所 聖霊ミッションセンター
(旧八事聖霊幼稚園)
〒466-0825
名古屋市昭和区八事本町1

参加費 200円

交通 地下鉄名城線八事日赤病院1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ徒歩5分

問合せ 聖霊修道院
☎052-832-0434

聖マリアの無原罪教育 宣教修道会 岐阜修道院からお知らせ

10月の勉強会はお休みします。